

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	広島支部	(2)記載者氏名:	佐々木 弘磨	会員番号:	12693	事務局整理記入欄	広島 - 001
分水嶺区分	県境尾根1303m地点 ~ W539恐羅漢山	(3)山行日:	2004年	2月	12日	(4)天候	快晴

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

佐々木弘磨	12693	山崎 孝	広島パイオニア				
松島 宏	13293	稲居 道弘	登山愛好者				
平田 恒雄	7020	奥富 久枝	広島山稜会				
平田 三男	広鉄岳連						
計			7名	計			名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	牛小屋高原~ヒエバタ尾根~W539恐羅漢山を往復												
アプローチ:	広島~戸河内町~小板~古屋敷~牛小屋 間を、車で往復する。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	牛小屋高原	三段峡	132	8	43.33	34	35	47.40	969		10:00		
分水嶺到達点	地形図1303m	三段峡	132	8	0.47	34	35	40.36	1,303	-	-	積雪	
W539	恐羅漢山	三段峡	132	7	47.00	34	35	47.00	1,346	12:00	13:00	積雪	(8)(9)(10)記入
	(引き返す)												
分水嶺離別点	地形図1303m	三段峡	132	8	0.47	34	35	40.36	1,303	13:20		積雪	
歩行終了点	牛小屋高原	三段峡	132	8	43.33	34	35	47.40	969	14:30		積雪	
総歩行時間(休憩時間を除く):												3時間30分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W539	恐羅漢山		-		積雪約2mのため未確認

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

W539恐羅漢山の広島県側は「恐羅漢山スキー場」、宿泊は「古屋敷」で民宿できる。又、麓には「牛小屋高原キャンプ場」の施設があり、テントサイト、常設の小屋に夏場には宿泊ができる。但し、駐車場付きで有料。

(9)水および植生に関連した特記事項

W539恐羅漢山の広島県側は大田川水系の支流で奥三段峡の源流に当たる。島根県側は高津川水系で匹見峡の源流に当たりブナ林に代表される広葉樹林が豊富な所である。
この一帯にはクマ、テン、タヌキ、イタチ、イノシシ、ウサギ、ムササビ、ヤマネ、クマタカ等も生息する。又、谷の上流にはゴギ、下流では地元で「ヒラベ」と呼ぶヤマメが棲む。
更に、恐羅漢山周辺の麓ではウド、タラの芽などの山菜、ブナと広葉樹などに生える茸類、オオヤマレンゲ、キレンゲシヨウマ、ヤマボウシ等に代表される多くの山野草が自生する。生命線の水源地であり、動植物の宝庫でもある。

(10)その他の特記事項

名勝三段峡の源流に、W539恐羅漢山(おそらかんざん)は県下の最高峰として鎮座する。
古くから多くの登山者に親しまれ、近年は中国縦貫道の開通により、四季を通して多くの人々が訪れる人気の山である。
恐羅漢山の稜線は広島・島根両県の県境であると共に分水嶺である。島根県側はブナの原生林、広島県側はスキー場、頂上から広島県側は砥石郷、臥龍山、深入山、内黒山、内黒峠、丸子頭、十方山、島根県側は日本海までが遠望できる。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
W539:牛小屋高原より恐羅漢山を遠望
w539D:恐羅漢山の下り